
【 異世界トリップ（仮題） 】

行之泉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【 異世界トリップ（仮題） 】

【Nコード】

N3917Y

【作者名】

行之泉

【あらすじ】

内容は今何となく流行っているみたいなの「異世界トリップ」。女性主人公。長い話を書いているので、短い話も書きたくて&最近腕が落ちた小説プロットの練習です。軽い感じで読める短編で、三回完結作品を集めたアンソロジーになる予定。

【 2011年11月11日11時11分 】前編（前書き）

破序急で言えば破の部分。物事のはじまり。変る世界。

1の重なる日には何かが起こる…

「本当に起こるのかな。何か…」

怪奇現象が起こると言われる公園。

公園を一望するジャングルジムに登って、美子は自販機で買ったホットの缶コーヒーをあげた。

晴れてはいるが、吹きすさぶ風は冬の使者であるかのように冷気をまとっており、美子のダウンジャケットの隙間から入りこむ。

すっかり寒くなった公園は、春から秋口までは遊びにくる子供やその親が少しはいるが今日は無人だ。

寒さをしのぐため、温かいコーヒーをひとくち含む。

中央にある時計は11時を僅かに過ぎたところだ。

今日は2011年11月11日。

1の数字が横並びする日と時間。

この日には何かが起こると言われている。

前に不思議な現象が起こったのは2001年の1月1日1時1分だったとか。

不思議な現象には諸説ある。

人が消えたとか。死んだはずの人が現れたとか。

一面が畑だった30年前の風景が僅かの間、この場所から見えたとか。

誰が見たかは判らないが、美子の耳に入る時に知り合いの友人の

兄とか姉になっっているところを見ると、嘘のようなホントのような話し。

この微妙な信憑性が実に都市伝説らしいと思う。

半ば冗談で美子はその日起こる何かを目撃しようと思つて公園へ来た。

美子の他には都市伝説の真偽を確認しようと思つているような酔狂な人は誰もいないようだ。

高橋美子は美術大学生油絵科の四年生だ。

実家暮らしで、就職活動中。

内定はまだもらっていない。

本当は卒業課題に本腰を入れたいけれど、これからの事を考えると頭がいっぱいになって手が進まない。

このまま提出せずに卒業出来ないってことになったら、もう一年大学に残れるかなって甘いことも考えている。

けど、ウチの経済力では難しそう。

自分の強い希望で、美大に入学して通わせてくれただけでもラッキーと思わないといけないのだけど、学校を出た後も絵にかかわる仕事をしたいと思つている。

でもそれはかなり難しい。

半年前までの時からバイトに入っていたデザイン会社も、不景気の煽りを受け、去年から新卒の正社員は取っていない。

いろいろ考えたら気分が暗くなってきた。

そついう事を考えないためにここに来たというのに…

…絵を描きたいな。

ふと思う。

そつ言えば、最後に何かを書いたのは二週間前だ。

落書きすらしていない。

以前は暇さえあれば何かを書いていたのに。

ペンを持つても線の一本も書けない日々が続いている。

…こんな私じゃない。

…気晴らしでいいから、何か書こう。

思い立ったら、書きたくなった。

ジャングルジムから降りる。

足を地面につけた時、何処からか声が聞えてきた。

『 我的呼びかけに応えし者、異国の絵師よ我が元へ来たれ 』

「何？どこから声があるの」

周囲を見回すと公園の時計が目に入った。

時計の針は11時11分を示している。

…もしかして、これが…

美子の意識がハッキリしていたのはここまでだった。

突然、足が何かに吸い込まれていく。

落下する感覚。

まるで、地面の底が抜けたかのようだ。

それと共に目の前が真っ暗になり、意識は遠くなっていく。

…落ちる。

美子は暗闇の中で目を瞑った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3917y/>

【 異世界トリップ（仮題） 】

2011年11月10日04時40分発行